



## 松下 京介

<http://www.podio.jp>

オペラ指揮者。香川県さぬき市出身。

昭和音楽大学、イタリア国立ミラノ・ヴェルディ音楽院、シエナ・キジアーナ音楽院で学ぶ。

小澤征爾、広上淳一、チョン・ミュンフン、アルベルト・ゼツダ、ファビオ・ルイージ等著名な指揮者の下、新国立劇場、藤原歌劇団、東京二期会、サイトウキネンフェスティバル、小澤征爾音楽塾等で副指揮、合唱指揮を務めた。

2005年バルトーク国際オペラ指揮コンクール(ルーマニア)第1位、2007年ルイージ・マンチネッリ国際オペラ指揮者コンクール(イタリア)第2位を獲得。

これまでに藤原歌劇団「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「カルメン」「椿姫」「ランメルモールのルチア」、ミラマーレオペラ「愛の妙薬」「コジ・ファン・トゥッテ」「椿姫」、日本オペラ協会「夕鶴」、広島オペラルネッサンス「魔笛」、文化庁委託事業オペラ「秘密の結婚」「友人フリッツ」、昭和音楽大学オペラ「愛の妙薬」「ピア・デ・トロメイ」「ファルスタッフ」、文化庁「本物の舞台芸術体験事業」オペラ公演等を指揮。

日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪交響楽団、広島交響楽団等、国内の主要オーケストラと共演した。

海外での活動も多く、ウィーン国立歌劇場、リセウ大劇場、トリノ王立歌劇場、ネーデルランドオペラ、モンテカルロオペラ等、数多くの劇場で研鑽を積み、「リゴレット」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「パリアッチ」「フィガロの結婚」「ファルスタッフ」等の公演をヨーロッパ各地で指揮した。イタリアのオペラ専門誌「L'OPERA」誌上で好評を得る等、評価も高い。2009年10月、ロハ・シンフォニーオーケストラ(エクアドル)を指揮。

イタリアオペラの指揮を得意とし、音楽的な分析に加え、台本の解釈や発音から生まれる表現などを重視した音楽作りをモットーとしている。演出家、音楽スタッフからの信頼も厚い。

第34回川崎市アゼリア輝賞、2009年3月には香川県文化芸術新人賞を受賞。

東京音楽大学指揮科助手、東京二期会オペラスタジオ講師を務め、現在昭和音楽大学、洗足学園大学講師。前さぬき市ふるさと大使。